

令和 6 年度第 1 回刈谷市学校給食センター運営委員会 議事録

日 時：令和 6 年 7 月 3 1 日（水） 1 4 時 3 0 分～ 1 5 時 1 5 分

場 所：刈谷市役所 7 0 1 会議室

出席者：学校給食センター運営委員会委員、教育長、教育部長、教育総務課長、学校給食センター所長、学校給食センター所長代理、主事 1 名、栄養教諭 2 名

欠席者：小高原小学校長、双葉小学校長、衣浦東部保健所長

1. 教育長あいさつ

2. 議題

（1）会長・副会長の選出について

会長は、衣浦小学校長、副会長は衣浦小学校 PTA 代表が全会一致で選任された。

（2）学校給食の運営について

事務局から学校給食センター方針・努力目標・給食センター概要・予算概要・実施計画について説明を行った。

「給食センター概要」について、第一・第二学校給食センターそれぞれの小中学校数と幼稚園数、1 日あたりの給食数等を説明した。

「予算概要」について、歳入として小学校・中学校・幼稚園の 1 食あたりの給食費と見込まれる給食費徴収金額等を説明。歳出として賄材料費（給食の食材費）等を説明した。

「実施計画」について、小中学校・特別支援学校と幼稚園の 1 人 1 回あたりの栄養摂取基準表や主食の提供予定日、牛乳、実施回数、アレルギー対応及び形態食、衛生管理等について説明した。

【質疑】

Q. 児童生徒の保護者以外にも、一般市民へ学校給食を広報していますか。

A. ホームページで通常の献立表とアレルギー対応の献立表等を掲載しています。

Q. 以前在住していた他自治体では、給食が美味しいと一般市民の評判も良かった。その自治体の食堂では学校給食のメニューを提供する取組みがあり、一般市民も給食に対して、前向きになれたと思います。保護者への広報以外にもイベントで給食を提供するなど力を入れていくのはどう

ですか。

A. 貴重なご意見ありがとうございます。保護者が給食を食べる機会としては、PTAで試食会を開催する学校等へ提供しています。

Q. 以前の職場で給食会議を毎月行い、調理師や担任が給食について話し合う機会がありました。学校や園からのフィードバックを受ける仕組みはありますか。

A. 各学校・幼稚園では給食の前に検食を行っており、その結果を検食簿に記入しています。そこに各学校・幼稚園の意見が書かれているので、そこでフィードバックを受けています。また、子供たちに好きなメニューについてアンケートを取り、その要望に応えるといったリクエスト献立という取り組みを行っています。

Q. 学校給食センターの運営はお忙しいですか。給食配送等にゆとりがあるとよいと思います。今現在の対応は十分な対応といえるのでしょうか。

A. 配送についても本市では業者に委託していますが、運転手不足や車両を増やすことも難しい状況であると聞いており、ゆとりがある状況ではないと言えます。

栄養教諭や調理委託業者等とともに、毎日安全安心な給食を提供できるよう努めており今後もしっかりと連携してまいります。

Q. 鶏卵アレルギー対応食を喫食する人数を教えてください。

A. 令和6年5月現在で、中学生29人、小学生98人です。

牛乳の返金対応してる人は中学生22人、小学生81人です。

Q. 小学生より中学生が少ないのは、体質が変わるとかあるのですか。

A. 詳しいことは分かりませんが、年齢が上がると食べられるようになったという話は聞いたことがあります。

Q. アレルギーに係るトラブルの事例があれば、教えてください。

A. 最近の事例では、小麦アレルギーの児童が、小麦が少し混ざっている米粉パンを誤って摂取してしまった事例があります。

Q. 残菜はどのくらいありますか。

A. 毎日、少なからず残菜が発生してしまいます。毎月集計しておりますが、本日は統計資料を持ち合わせいないため、正確な残菜率をお答えすることは難しいです。

Q. 残菜が多いのであれば、給食の盛り付け量を減らしてほしいと思います。

A. 基準に定められた栄養を満たす必要があるため、盛り付け量を減らして残食を減らすことは難しいです。

(3) その他

第二学校給食センターの調理委託について、来年度7月末にメーキュー(株)と契約満了となることから、プロポーザルによる選定を計画している旨を説明した。

閉会